

中島公園魅力アッププランの検討について

1 考慮に入れる主な事柄

歴史性、位置付け <ul style="list-style-type: none"> ○ 明治20年(1887年)に「中島遊園地」として整備 ○ 明治40年(1907年)長岡平が「池泉回遊式」の庭園として設計 ○ 北海道博覧会、国民体育大会の会場となるなど、時代に即した整備を実施 ○ 平成の再整備では、豊かな緑地空間として芸術・文化の拠点形成 	従来からの役割 <ul style="list-style-type: none"> ○ 都会の喧騒から一線を画すみどり豊かな憩いの空間 ○ 藻岩山への優れた眺望である景観軸 ○ 芸術・文化が感じられ、体験できる空間 ○ さっぽろまつりなど多くの人々が訪れるイベントが開催される賑わいの空間 	周辺のまちづくりの動向 <ul style="list-style-type: none"> ○ 中島公園駅周辺地区まちづくり基本構想 <ul style="list-style-type: none"> ・公園に隣接する民間ホテル敷地にMICE施設の整備構想 ・質の高い宿泊機能の誘致 ・アフターMICEや夜間観光の魅力向上に資する環境の充実 ・地区に点在する地域資源を活用するための情報発信と快適に街歩きを楽しめる歩行空間の確保 ○ 豊水通沿道の民間敷地(2か所)での高級ホテルを誘致した開発事業 	第2次まちづくり戦略ビジョンの位置づけ <ul style="list-style-type: none"> ○ 中島公園周辺エリアを新たに集客・交流機能や芸術・文化の強化を図る拠点として、高次機能交流拠点に位置づけ ○ 国際的・広域的な観点を持った都市機能の高度化や集積に向けて、民間活力を生かしながら、必要な都市基盤・施設の整備などを行う ○ みどり豊かな都心を形成するため、公園などにおけるみどりの整備・改善に取り組みとともに、再開発の機会を捉え、官民連携による効果的なみどりの創出をすすめる 	公園に求められる社会的要請 <ul style="list-style-type: none"> <環境> みどりの確保のほか、省エネ、リサイクルなど、脱炭素化に資する公園づくり <ユニバーサル> 誰もが利用しやすい公園づくり <ウォーカブル> 歩いて楽しい街づくりに資する公園づくり <防災・安全> 長く安全に利用できる老朽化対策や防災機能を一層高めた公園づくり <デジタル> デジタル技術と連携した未来型の公園づくり
--	--	--	---	--

2 3つの方向性と具体化に向けた検討の視点

方向性1 今あるみどりや芸術・文化を磨き高める <ul style="list-style-type: none"> ① 歴史性や季節ごとの魅力の再確認 ② みどりと芸術・文化が相乗効果を生む取組 ③ 日常的な利用環境の充実と情報発信 	方向性2 新たな機能により魅力を向上する <ul style="list-style-type: none"> ① 市民の日常利用を基本に来街者のニーズにも応える機能 ② 子どもや若者が訪れたいくなる機能 ③ 冬も魅力的で利用者呼び込む機能 	方向性3 周辺エリアも含めて活性化させる <ul style="list-style-type: none"> ① 周辺事業者による公園の活用 ② 公園と周辺事業者との連携 ③ 周辺に波及させる公園の魅力 ④ 周辺と補完関係を築き回遊機能を高める公園運営
---	--	--

3 第2回の振り返り(主な意見)

①市民の日常利用を基本に来街者のニーズにも応える機能

- ・ 市民に寄り添った身近な文化を豊かにする公園、その中に観光客が入ってくるイメージ。
- ・ 池泉回遊式公園であるが、豊平館やKitoraから池を見せる仕掛けがない。空間デザインとして、池の視点場の形成など、今ある魅力をどう生かしていくかを丁寧に見ていくべき。
- ・ メインストリートが分かるように工夫し、市民の利用のしやすさを向上させる。
- ・ 市民の中には中島公園のことを知らない人も多い。今ある魅力をもっと知ってもらうことが必要。
- ・ 飲食を楽しむ機能の他にスポーツも新たな機能として追加することを考えてはどうか。
- ・ 収益性が取れる公園だと思うので、民間の知恵やアイデアを使ったサービス作り、民間の出資による施設更新などで魅力アップしてもらおうという考え方が良い。
- ・ もう少し自然の観察の場所としての魅力を発掘して伸ばしていくというのも今までにない視点。
- ・ 飲食施設は利用者から見た時に、それぞれ指定管理者が分かれていることも弊害。
- ・ 公園の景観を楽しみながら、札幌を楽しんでもらう施設があることは大切。稼ぐポテンシャルも十分にあるが、全体的にどうしていくかという話と運動させると、MICE施設も大切な要素。
- ・ 新たな機能の誘致を検討するなら、エリア全体での都市公園や類似施設の配置も考慮に入れるべき。
- ・ 市の体育施設配置計画からすると中島公園での体育施設の位置付けは後退しているのではないかと。
- ・ 公園用地が施設用地に浸食されてきたことへの弊害や課題を考えるべきでは。
- ・ 芸術文化に加え、時代の流行りのものが置かれる場所でもあり、統一されたコンセプトとか公園のあり方から話されるストーリーを感じない。
- ・ 考えた改善点はニーズベースなのか、行政や管理者目線なのかを分類して考えるべき。

②子どもや若者が訪れたいくなる機能

- ・ 子どもにウッドチップを運んで遊歩道をつくってもらうなど、公園管理に新しい形態で市民や子どもが関わることで、空間への愛着が深まり、利用の満足度にもつながっていく。
- ・ 若者支援総合センターや若者活動センターの利用者から意見をもらおうと良い。
- ・ 女性のお手洗いの利用が少ない状況も考えていく必要がある。
- ・ Park-PFIの候補。若者の居場所として100年前のライオン食堂みたいなカフェがあれば人気が出る。
- ・ eスポーツなど若者が来る施設とか時代が求めるものを置くということも方向性としてはあり。
- ・ 若年層に利用してもらうことで、若年層の生活の質の向上にどうつなげるのか。
- ・ 管理者側として長時間使って欲しいという想いはわかるが、どの程度の滞在時間が理想で、それはなぜかを整理した方がよい。

③冬も魅力的で利用者呼び込む機能

- ・ 赤レンガテラスのスケートリンクは、小規模で有料だが行列ができています。大きな道具を使わなくても楽しめるものは嬉しい。
- ・ アリーナが中島体育センターのところにできれば、幌平橋駅からすすきの駅の方に流れるという客の分散もよい。

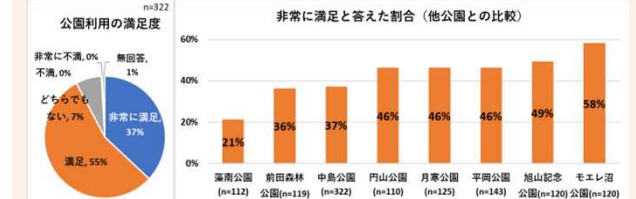
その他

- <マネジメント体制の検討>
 - ・ 指定管理者で何をやって欲しいのかを再度検討すべき。現状では自主事業をやる必要はなく、言われた限りのことをやれば良い状態。
 - ・ 公園と施設を統括するマネジメント組織、お金のマネジメントも必要。公園管理者が収益を上げて施設管理費を捻出していくべき。
 - ・ 一つのマネジメント主体が施設も含め全て管理するのが理想だが、今の体制のまま横の繋がりだけ作っても難しい。
 - ・ 中島公園は大きな場であり、札幌市として一定程度リーダーシップを発揮していく必要があるのではないかと。
 - ・ Park-PFIと指定管理が合わさると収益のみに公園が使われる。特殊な枠組みの組織が必要では。
 - ・ 指定管理の中に一部Park-PFIというのは普通にはできる。
 - ・ 指定管理者間で連携し、年間イベントとして情報を集約して一元的に発信すると、市民の回遊性は高まる。
 - ・ 公園に公道や神社がオーバーラップしており、広い視点での管理が必要。
 - ・ 公園管理者が中島公園の一番奥にいて、利用者と顔を合わせる事がほとんどない状況で、色々な機能とか魅力アップに応えられるのか。

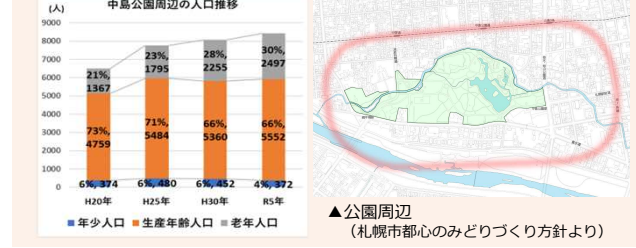
第2回検討会 補正事項

- ▶ **中島公園校外学習の利用届の主な内容**(詳細の記載がある届出から抜粋)
 - ・ 季節の生き物(草花や虫など)を見つけ、春と夏の生き物の違いを見つける。
 - ・ 自分たちの校区にある身近な公園で、夏の昆虫などを見つけ、生き物への親しみをもち、生命の大切さを身につける。
 - ・ 園児による落ち葉拾い。
 - ・ 大学の研究調査のため、対象地ごとにソメイヨシノを調査、測定し、平均気温や気候帯、土壌との関連性を調査する。

▶中島公園の利用に対する満足度 (R元年度・2年度調査)



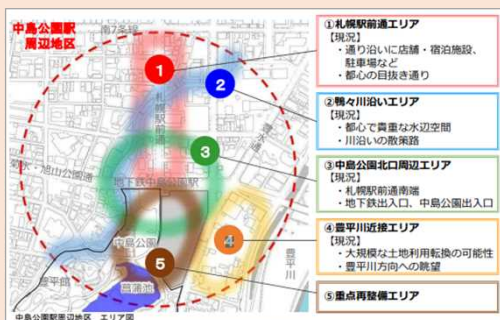
▶中島公園周辺の人口 (札幌市住民基本台帳より)



(参考) 公園北口周辺でのまちづくりの取組

▶中島公園駅周辺地区まちづくり基本構想 (令和3年11月策定)

○策定の背景・目的等
南10条西3丁目での新MICE施設の整備などを背景とし、中島公園駅から半径約400mの範囲を対象に、「にぎわいの軸(札幌駅前通)」南端における都市観光・交流の場の強化による新たな拠点の形成を目指し策定。



▲中島公園駅周辺地区の検討エリア

○まちづくりのコンセプト
「地域に培われた歴史・文化」と「新たな集客・交流機能」が調和した都心南端の拠点の形成

○検討エリア別の取組方針

- ①札幌駅前通りエリア: 通りへのにぎわいの表出による南北主動線の高質化
- ②鴨々川沿いエリア: 鴨々川などの地域資源を生かし歩いて楽しめる空間の形成
- ③中島公園北口周辺エリア: 公園とにぎわい、機能的融合する、地区の玄関口としての景観整備
- ④豊平川近接エリア: MICE・ホテル施設と連携・協調する都市機能や空間の誘導
- ⑤重点再整備エリア: MICE・ホテル施設と調和した魅力的な空間の創出

○今後の進め方
・関係者との協議や内容の深度化など具体的な動きを進め、(仮)まちづくりガイドラインを定め、ハード・ソフト両面から官民連携によるまちづくりを推進
※重点再整備エリアについては、MICE・ホテル施設の再検討の進捗に応じて、再整備の方向を具体化

▶中島公園周辺の事業者位置図



1. 周辺事業者による公園の活用

▶周辺ホテル宿泊客の公園活用状況 (ヒアリング (2カ所) より)

- 宿泊客のニーズ
 - ・ビジネスではなく観光目的
 - ・「静かでない」という理由で選択されている
 - ・ホテルのカフェからは、建物に邪魔されることもなく綺麗に藻岩山が見え、都心部に居ながら街のはずれにいるように感じる
 - ・海外観光客は日本文化を感じるものを求めている
 - ・北海道の雪やお祭り、その土地に根付いた行事を求めている人が多い
 - ・本州からの旅行者は、北海道に「野生」を期待している

- 宿泊客の公園利用状況
 - ・雪中サッカーや雪だるまづくり、岡田山でのそり遊び、歩くスキー
 - ・ランニング、散歩

▶周辺ホテルでの情報発信状況

- ・「中島公園散策マップ」を作成し、HPに掲載/フロントで配布。3つのコースとその所要時間、魅力スポットや季節ごとの植物を紹介している。
- ・多くのホテルでは、ホームページ上で周辺情報として中島公園を紹介しているが、公園の内容を紹介しているものは少ない。



▲中島公園散策マップ

▶周辺飲食店の公園活用状況

- ・公園側の店先にイスやパラソルを設置
- ・園内でのキッチンカーの出店



▲店先のパラソル



▲中島公園へのキッチンカー出店

(出典: Yahoo!ニュース/SMOOTH COFFEE TRAILER)

▶周辺事業者による公園活用事例

- 北谷パーク (渋谷区): 周辺プレイヤーが集える場所
 - ・クリエイティブで感度の高いプレイヤーが豊富という地域特性を生かし、地域の様々なプレイヤーと連携して様々なイベントを開催することでエリアの価値向上に寄与している
- ・音楽やラジオのイベント、周辺に個性的なアパレルショップが集まっていることから、ファッションにテーマを絞ったフリーマーケット等を開催
- ・イベント時以外は、公園周辺施設・店舗を周回し、気軽に休憩できる公園としても機能している



▲ラジオ番組の公開収録



▲フリーマーケット

(出典: 公式Instagram/日経BP「新・公民連携最前線」)

○京都市おそとチャレンジ (公民連携公園利活用トライアル事業)

- ・安全面から制約が多い公園で、柔軟な発想のイベント・サービスを試行する民間企業等の企画を公募選定、市と共催の社会実験として実施している
- ・公益に資する取組を必須要件とし、売上金を公園の魅力向上及び維持管理等に還元している
- ・船岡山公園: 事業者による清掃活動やトイレトペーパー補充のほか、月1開催のオープンパークでは、飲食・雑貨販売、トークセッションやライブ、工作WSなど、誰もが参加でき、好きなこと得意なことを朝から夜までシェアする場となる
- ・宝が池公園: 豊かな自然を生かした冬のグランピング体験や防災キャンプ、手ぶらBBQ、公園ウエディング等の多様な事業を展開



▲船岡山公園でのオープンパーク



(出典: プロジェクト参画企業STUDIO MONAKA HP/京都市情報報)

▶中島公園周辺の施設数

利用目的	施設	軒数
宿泊	宿泊施設	28
飲食	レストラン・居酒屋・カフェ	76
	コンビニ・惣菜・菓子等販売店	20
食品以外の購入	花卉・自転車・ペット等販売店	5
運動	フィットネスジム等	4
音楽活動等	劇場・音楽・写真スタジオ	4
生活支援等	福祉・医療施設	12
参拝等	神社	4

課題 ●ホテルからの公園の景観を活用している事例はあるものの、周辺事業者による公園の積極的活用は見られない。
●周辺事業者が公園の魅力を積極的に発信している事例は少なく、公園が近接していることをメリットとした集客方法を選択していない。

考察 ●周辺事業者に対して、公園の活用を促す仕組みとはどういったものか。
●周辺施設を訪れる目的の一つとして、中島公園の魅力(景観的価値等)を事業者を活用してもらえないか。
●周辺事業者に対して、利用目的に応じた公園の活用方法・事例を周知することや、公園を活用したい時にいつでも相談できる専用の窓口を設置することが活性化につながるか。

2.公園と周辺事業者との連携

▶公園と周辺事業者との連携状況

■中島公園地域コミュニティ推進協議会

- 設置主体
- 指定管理業務仕様書に基づいて、関連する団体や地域との連携を目的に、現指定管理者である札幌市公園緑化協会が立ち上げ

○構成員

中島公園内	公園周辺施設・団体
<ul style="list-style-type: none"> 中島公園管理事務所 中島体育センター 札幌市天文台 札幌コンサートホールKitara 札幌市豊平館 北海道立文学館 札幌市中島児童会館 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌パークホテル プレミアホテル中島公園札幌 渡辺淳一文学館 地域力UP↑実行委員会（児童会館の利用者の保護者・等による母親グループ） 札幌彫刻美術館友の会（市内の彫刻清掃などを行っている団体） 北海道演劇財団/シアターZOO（パークホテル近くの劇場）

▶公園と周辺事業者の連携アイデア

- 周辺ホテルからの連携アイデア
- 公園内施設のチラシ・イベントカレンダー等の設置や案内
 - ランニングコース等、ランナーのニーズに応える案内
 - ホテルに囲まれた公園という立地の珍しさを活かした連携イベントの実施
- 指定管理者からの連携アイデア
- 中島公園の清掃活動等、公園内の各施設管理者や周辺事業者が公園全体を知る機会となるイベントを実施

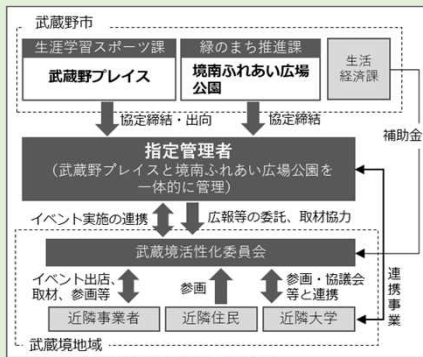
▶自由広場の活用

- 利用に関するルール
- 中島公園自由広場は、民間団体等が単独で興行（入場料を徴収して行うイベント）を実施できる市内の公園でも限られた場所であり、指定管理者の自主事業以外でのイベント開催も可能となっている。（物販は他の公園と同様に制限あり）
 - 【利用例：さっぽろまつりの興行、プロレス】

▶指定管理者と地域団体との連携の事例

- 武蔵野プレイス：図書・学習機能を備えた集いの場

- 図書・生涯学習支援等の複合機能施設である武蔵野プレイスと、隣接している境南ふれあい広場公園を、指定管理者が一体的に管理
- 周辺地域で活動する活性化委員会（構成員は事業者及び住民、大学職員や学生等）が指定管理者との連携の核となり、年間を通して様々な地域主体との連携事業を実施
- 活性化委員会と指定管理者は、単発的なイベントのみの関わりや、指定管理者への公園使用許可等の一方的な関わりではなく、指定管理者から活性化委員会へ広報の業務委託など、双方向で定期的な連携・協力が行われている。
- 活性化委員会主催のイベントには地元事業者が毎回参加し、イベントを通して事業者と地域住民や地主との関係構築に繋がっている。これは事業者のさらなる活動意欲の醸成にも寄与している。



3.周辺に波及させる公園の魅力

▶時間帯別の魅力

- 天文台での天体観測
- アクセスの良い都心の中で、天体観測ができる唯一の場所。
 - 周辺にビルが並ぶが、夜間は肉眼でも星が綺麗に見える。
 - 予約制になっている夜間公開は予約がすぐ埋まるほど人気で、中でも子供連れが多い。



▲天文台の夜間公開

○周辺ホテルからのアイデア

- ホテルの宿泊客は、滞在時間が短いため早朝と夜間帯が狙い目
- 公園内施設を紹介するモーニング散歩企画を立て、ホテルで案内
- 海外観光客向けにアジアの屋台等が出る夜市を公園内で開催

▶鴨々川ノスタルジア

- 中島公園からすすきのにかけて流れる鴨々川流域のお寺、ギャラリー、ホテルなどが手を組み、2014年にスタート。
- 新善光寺、東本願寺、中島公園内日本庭園の3か所を中心として、鴨々川流域を彩るお店や施設が会場となり、「寺町すすきの遊ぶ」をキーワードに体験型講座、演奏会、茶会などを楽しめる3日間のイベント。
- 中島公園では、「なりわい村」を開催。昔ながらの演芸や商売の様子を再現。



▲中島公園内日本庭園でのイベントの様子 (出典：指定管理者HP)

※現在の鴨々川ノスタルジアは、お寺中心のイベントのみで、中島公園を含めた散策イベントは行っていない。

▶池や日本庭園の楽しみ方を提供している事例

○大濠公園（福岡市）

- 池を中心に能楽堂や美術館、日本庭園、児童公園、ボートハウス等が揃い、様々な楽しみ方ができる公園
- 園内に複数導入されたカフェはどこも人気で、水面に近いテラス席で公園の代名詞である水景を楽しめたり、テイクアウトした飲み物を片手に散歩する姿も見られる
- 日本庭園では、四季折々の美しい景観に加え、茶室ではお抹茶とお菓子が楽しめる。また、日本庭園に隣接する施設の1階にはレンタル着物屋があり、着物を着て日本庭園内の散策や写真撮影ができるなど、日本文化にも触れられる場所になっている。



▲園内カフェのテラス席



▲池を眺めながらベンチで休憩利用



▲水景を活用した木々のライトアップ



▲日本庭園隣接施設 2階テラス



▲大濠公園内マップ

(出典：大濠公園・園内施設HP/福岡の情報発信サイト「もっと福岡」/観光サイト「九州旅ネット」)

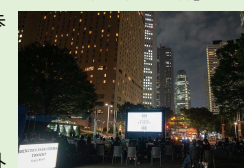
▶周辺にホテルが立地している公園事例

○新宿中央公園：大都会のオアシス

- 周辺にホテルが多く立地し、外国人観光客の利用も多い公園
- カフェ等の商業施設が設置された賑わいのあるエリアと、森林浴が楽しめる森、子供たちの遊具広場や運動広場等、様々な機能を持つ
- 早朝からのランニングやウォーキング、犬の散歩等での利用も見られ、Park-PFIにより導入した施設にはランニングステーションも入っている
- 周辺ホテルでは、ホテルを起点としたランニング・ウォーキングコースを紹介
- 食事を楽しみながら映画を観ることのできる野外上映イベント等、水と緑に囲まれながら都心のビル群の夜景を見渡せる立地を活用し、夜間のイベントを実施



▲憩い空間「区民の森」



▲映画上映イベント

(出典：㈱ココロマチ「西新宿ライブ」、新宿観光振興協会HP)

課題

- 公園と周辺事業者との関係は情報共有程度であり、関わりが希薄である。
- 周辺の事情を考慮した魅力の提供や連携事業が少ない。
- 公園と周辺事業者が活かし活かされる関係となっていない。

考察

- 公園と周辺事業者が連携を深めるための方法とは何か。
- 時間帯毎の取組や文化が感じられる取組は、周辺施設との連携が可能か。
- 自由広場のように制限を設けない区域を増やすなどの柔軟な対応が必要か。

4.周辺と補完関係を築き回遊機能をも高める公園運営

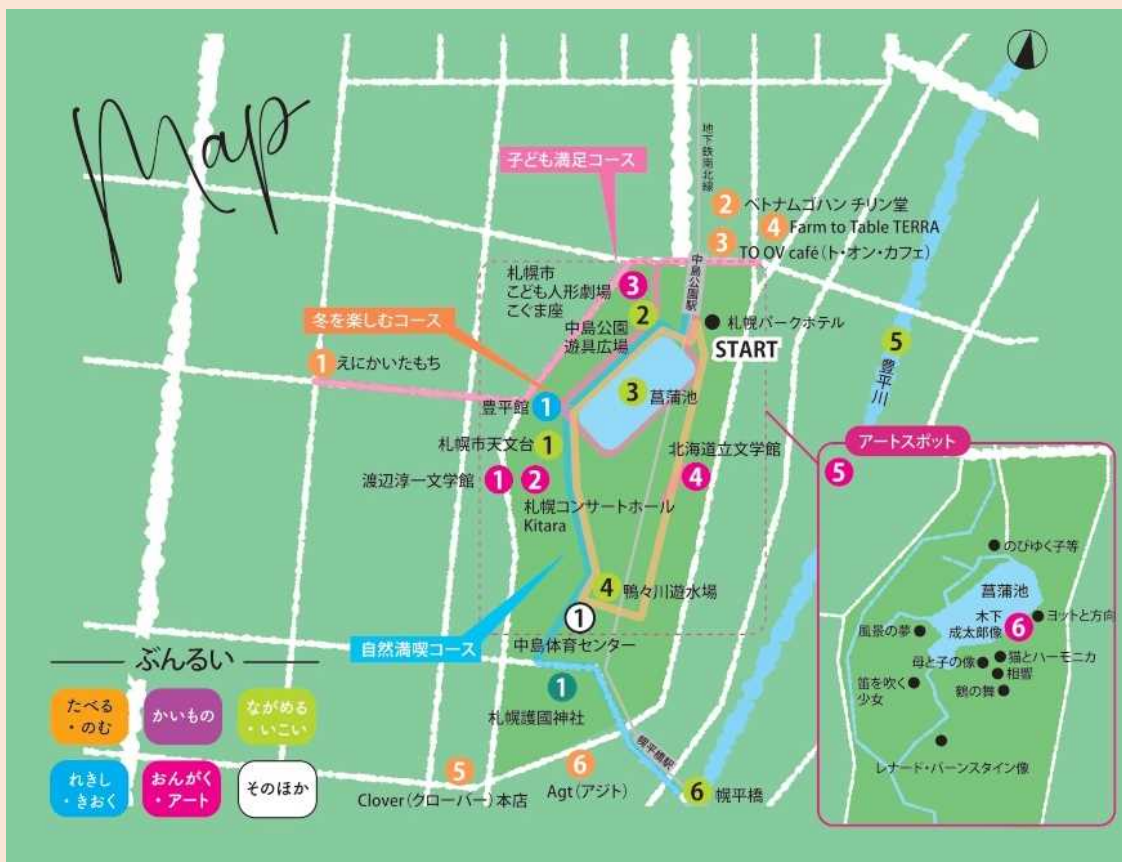
▶回遊性向上のツール

・自然や歴史等の地域資源を活用し、市内を回遊できる散策マップが作成されている

	MAP名	発行元
①	SAPPOROぶらり手帖 中島公園界限	札幌市経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課
②	創成川・鴨々川 川めぐりマップ	札幌市下水道河川局事業推進部河川事業課
③	ちゅうおう区ウォーキングマップ	札幌市中央区保健福祉部健康・子ども課
④	さっぽろサイクリングMAP	特定非営利活動法人 ポロクル
⑤	COPDウォーキングマップ	COPD-jp.com(日本ベーリンガーインゲルハイム(株)が運営)
⑥	Hokkaido BRAW MAP	NPO法人コンベンション札幌ネットワーク

①SAPPOROぶらり手帖 中島公園界限

- ・中島公園を札幌のセントラルパークとして紹介し、テーマ別のコースと立ち寄りスポットを掲載。
- ・「自然満喫コース」は、札幌パークホテルから中島公園を通り、幌平橋へと抜ける散歩コース。菖蒲池、鴨々川、豊平川を見て回ることで、中島公園が豊平川と鴨々川の中島だったことを知ることができる。
- ・「子ども満足コース」では、中島公園の彫刻のある芝生広場やこくま座の他、周辺のカフェもコースに組み込み、子どもが楽しめる場所を紹介している。
- ・「冬を楽しむコース」では、ゆきあかりや冬の野外劇場、無料で参加できる歩くスキーが紹介され、中島公園の冬の楽しみ方を発信している。
- ・その他、周辺も含めた立ち寄りスポットの一覧が掲載されており、QRコードをスキャンすると各スポットの詳細情報を確認できるようになっている。



②創成川・鴨々川 川めぐりマップ

- ・創成川と鴨々川の現河川と、今も地形として残っている旧河川跡を散策する、幌平橋駅と北大通橋を結ぶコース。
- ・川と札幌のまちづくりの歴史や、中島公園と鴨々川・菖蒲池との歴史的な関係性、川やまちを再発見できる見どころ等を紹介している。

